

Public Relations No.746



Mogami

広報もがみ



今月の表紙

7女たちの熱き闘い！

最上中運動会「各組女子対抗綱引き」のひとコマ。ピストルの合図で、向かい合った両組による力比べがスタート。照りつける太陽の下、大きな掛け声をかけ、競い合う姿はまさに熱闘。7女たちのパワーにびっくりです。

5

2013

東日本大震災の被災地の方との交流活動 に対し助成を行なっています。

最上町復興絆づくり事業は、東日本大震災の被災地との交流や絆づくりを目的とする活動を行う団体に対し、事業費の助成を行うものです。

今年度からは、集落同士の交流活動についても助成の対象になります。

▼助成の対象

町内で組織された集落、企業、旅館組合、NPO等の団体。

▼対象になる事業の要件

①東日本大震災の被災者との交流や絆づくりを目的として実施する事業であること。

②事業を実施することによって高い支援効果が見込まれ、その後も継続して被災者との交流が生まれる取り組みであること。

③平成25年5月以降に実施し、平成26年2月下旬までに報告が終了する事業であること。

※資金供与だけの事業や、国や県、町などから、他の助成を受けている事業は対象になりません。

▼助成額

①1事業につき50万円を上限に、事業費の2分の1を助成します。

②複数の団体が広域的に共同で行う事業については、事業を実施する団体の数に関わらず、上限を100万円とし、事業費の2分の1を助成します。

※ただし、同じ集落内の団体による共同事業は除きます。

▼選考方法

最上町観光協会において、事業審査会を開催し、必要に応じて調査等を行い、予算の範囲内で助成対象団体と助成金の額を決定します。

▼申し込みについて

事業実施予定日の30日前までに役場交流促進課へ申請書を提出してください。申請書は、役場交流促進課、または町ホームページにて配布しています。

※申請書の作成や事業内容について、詳しくは役場交流促進課までご相談ください。

問 交流促進課

Tel.43・2262

最上白川砂防堰堤が、山形県景観重要建造物に指定されました

○景観重要建造物とは？

景観法において指定される、地域の自然や歴史、文化等からみて、その地域の良好な景観を形成するのに重要な建造物のこと。

○白川砂防堰堤が指定された理由

機械や機材がなかった時代、白川砂防堰堤は「産業開発青年隊」と呼ばれる青年たちの実習場として選ばれ、青年隊の過酷な勤労により竣工されました。青年隊が郷土開発に尽くした功績は極めて大きく、その後県内各地に広がって山形県の産業発展につながっていきました。

白川砂防堰堤や周辺の景観には、次代に引き継ぐべき地域の歴史が隠されているのです。

問 建設課都市環境整備係 Tel.43-2015

防災無線個別受信機（防災ラジオ）の追加販売を行います

町では、昨年度に販売した防災無線個別受信機（防災ラジオ）の追加販売を行います。個数に限りがありますので、購入を希望される方は、下記連絡先までお早めにお申し込みください。また、昨年購入された方で「聞こえにくい」「雑音が入る」などの不具合がある場合も下記までご連絡ください。

○防災無線個別受信機 価格 6,500円（税込）

○追加販売個数 30個



AM/FMラジオと防災無線の両方を聞くことができます。ラジオを聴いている時も防災無線が放送されると自動で切り替わります。

問 総務課まちづくり推進室情報企画係 Tel.43-2261